平成 23 年 5 月 19 日

金融商品専門委員会
ディスカッション・ポイント

- 金融商品専門委員会では、金融商品会計に関する現行基準の見直し作業を進めており、その一環として、昨年 8 月に公表された「金融商品会計基準（金融資産の分類及び測定）の見直しに関する検討状況の整理」（以下「DP2」という。）のコメント分析及び対応について検討を開始している。

- 第 79 回、第 80 回、第 81 回金融商品専門委員会（4 月 5 日（火）、4 月 20 日（水）、5 月 11 日（水））では、審議事項（３）－４のコメントの紹介及び一部のコメント対応案を説明の上、今後のプロジェクトの進め方を中心に議論をいただいた。その際、DP2 公表時と同様に、IFRS 第 9 号を基礎として検討を進めることに異論はなかった。一方で、分類及び測定に関する FASB の議論が進む中で、性急にプロジェクトを進めることに懸念が多く示された。

- このような検討状況を踏まえ、本日の第 224 回企業会計基準委員会では、DP2 に対するコメントへの対応案の方向性について、特に以下の点を中心にご意見をいただきたい。

• IFRS 第 9 号を基礎として検討を進めることでよいか。 • 国際的な動向も十分に踏まえつつ、慎重に検討を進めることでよいか。

以上

財務会計基準機構のWebサイトに掲載した情報は、著作権法及び国際著作権条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律並びに条約によって保護されています。許可なく複写・転載等を行うことはこれらの法律により禁じられています。